政策番号 16 政第	₹ 分野 高齢者福祉
------------	--------------------

いわゆる「団塊の世代」が高齢期を迎え、今後、介護給付費をはじめとした財政需要の増大が 想定されるなか,高齢者自身が就労や社会参加を通じた生きがいづくり,健康づくりを進めるこ **基本方針** とにより、活力あるまちづくりを推進する。また、介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で 生活できるよう、介護・医療施設等の整備に取り組むとともに、地域住民参加型の見守りネット ワークを構築し、地域全体で高齢者を支えるしくみづくりを推進する。

担当局

保健福祉局

共管局

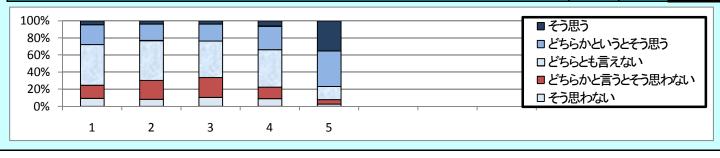
政策の評価

1 客観指標評価

	指標名	23年度	32年度	年	年		23	年度評·	価	
101条位		評価値	目標値	度	度	前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	認知症あんしんサポーター登録者数(人)	28,920	ı	1	ı	21,788	28,920	27,431	105.4%	а
2	施設・居住系介護保険サービス定員数(人分)	11,981	ı	1	ı	11,605	11,981	442人分增	85.1%	а
3	地域包括支援センター相談件数(件)	239,203	ı	1	ı	235,007	239,203	246,757	96.9%	b
4	-	-	ı	ı	ı	ı	ı	ı	-	-
5	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	客観指標総合評価									а

2-1 市民生活実感評価

番号	設問		評価	
	政问	年度	年度	23年度
1	高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実したくらしを送れている。	-	ı	С
2	高齢者の知恵や経験、技能が社会に生かされている。	1	1	С
3	高齢者が地域で見守られ支えられて、安心してくらせるまちになっている。	1	-	С
4	介護サービスや住環境整備などが充実し, 高齢者が住み慣れた地域でそのひとらしい くらしを送れている。	1	1	С
5	高齢社会が進展するなか,介護職が重要な仕事となっている。	ı	ı	а
6	-	ı	ı	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
	市民生活実感調査総合評価			b



2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

年	度	年	度	23年	F度
順位	%	順位	%	順位	%
		-	-	1	37.8%

3 総合評価

B 政策の目的がかなり達成されている 【客観指標】・認知症サポーター登録者数は、前年度から大幅に増加し、a評価となった。京都市では、厚生労働省の「認知症サポーター100万人キャラバン事業」を「認知症		
あんしん京づくり推進事業」と位置付け、平成18年度から平成21年度までの間にサポーターを1万人養成する目標を掲げて、取組を進めた。 ・介護保険サービス定員数は、国の補助制度「緊急整備特別対策事業」を最大限活用し、特別養護老人ホームの整備助成等を行った結果、堅調に増加し、a評価となった。 ・地域包括支援センター相談件数は、本市と地域包括支援センターが連携して周知活動に取り組んだ結果、センターが地域に浸透したことから、堅調に増加し、b評価となった。	年度	-
【市民の実感】・高齢化社会を反映して、介護職の重要性を肯定する回答が非常に多い。これに対して、その他の全設問の多数回答は「どちらとも言えない」であり、地域全体で高齢者を支える気運の盛り上げや仕組づくりが課題であることがうかがわれる。		
【総括】・客観指標が最高のa評価となり、取組が進んできたと考えられるが、市民の実感については、介護職の重要性以外は「どちらとも言えない」である。 ・こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、かなり達成されていると評価する。	年度	-

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価>

施策番号	施策名	詔	価結	果	参照
旭米田与	ル 火石			23	ページ
1601	高齢者の尊厳を保つ社会の構築	1	-	В	175
1602	活力ある長寿社会の実現	ı	-	C	177
1603	高齢者を支えるネットワークの推進	1	-	В	181
1604	介護サービスの充実による豊かな生活の実現	ı	-	В	183
1605	魅力ある介護現場の実現	1	-	Α	187

<今後の方向性>

・平成21年3月に策定した「第4期京都市民長寿すこやかプラン」に基づき、認知症をはじめとする要援護高齢者及びその家族の生活支援、総合的な介護予防の推進、健康増進・生きがいづくりの推進、地域における総合的・継続的な支援体制の整備、介護保険事業の適正かつ円滑な運営、誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進を図ることとしている。

政策:	名	1	6	高齢者	福祉					
指標	名	認知症	あんしん	んサポ -	-ター登録者	首数(人)				
担当	部室	£	長寿社会部	邻		連絡先	25	1-1106]	
1 指:	標の説は	明			J				1	
			田識と具体	本的な対	·応方法等を学	どんだサポーターの	の登録者数			
O +E	煙の音	n±				の 営山士:	+ . 山曲学	•		
高齢者の		保たれる	る社会の特	構築に向	けた進	3 算出方 算出方法: 当該	年度末時点			
歩状況を	を示す指	標				出典:事業担当	は 課調べ			
4 数·	値		1 — B		I					
10年後 <i>0</i> 目標値	の(平成3	2年度)	平成23年		平成32年度目標	<u> </u>		根拠		
ᄀᆥᆔ			20,3		_					
] <u>数値</u> 年度	最新 22年		推移	数值	単	年度目標値 根拠		達成度
数值	21,	,788	28,9	920	7,132人増	27,431		末までに5万人の目標録 達成すべき数値(累計)		105.4%
	全国順位				中長期目標					
数値		数值 50,000	目標年次 26年度	達成度	第4 期 方	根拠 民長寿すこやかプラン		備考		
	 価基準	50,000	20千戌		6 基準説明			 7 評値	而結果	
単年度目	目標に対	する達成	戈率が		認知症に関す	る知識は,市民に周		7 811	<u> </u>	23
a:100% o:90%	-	%未満				いことから,目標値 10%刻みで基準を設				
c:80%	以上90%	%未満				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		_	_	l a
c:80%	以上90% 以上80%	%未満						-	-	а
c:80% d:70% e:70%	以上90% 以上80% 未満	%未満 %未満		A				-	-	а
c:80% d:70%	以上90% 以上80% 未満	%未満 %未満	居住系介	介護保 隊	食サービス定	三員数(人分)		-	-	а
e:80% d:70% e:70% 指標:	以上90% 以上80% 未満	%未満 %未満 施設・	居住系 2 長寿社会音		食サービス 類		2 1 3	3-5871	- - 	а
e: 80% d: 70% e: 70% 指標: 担当	以上90% 以上80% 未満 名 部室	※未満施設・明	長寿社会部	部		≧員数(人分)	2 1 3	3-5871]	а
e: 80% d: 70% e: 70% 指標: 担当	以上90% 以上80% 未満 名 部室	※未満施設・明	長寿社会部	部	負サービス 算	≧員数(人分)	2 1 :	3-5871]	а
c: 80% d: 70% e: 70% 指標 担当 1 指	以上90% 以上80% 未満 名 部室 標の説 食施設及	株満施設・明	長寿社会部	部		≧員数(人分) 連絡先]	а
c: 80% d: 70% e: 70% 担当 担当 1 指標 2 指	以上90% 以上80% 未満 名 部室 標の説 検施設及	施設・ 明 び介護 ・	長寿社会部	部 系サービ		3 算出方 (第出方法: 当該年	去・出典等 F度末時点の介	子 護保険施設等の実気	- 	
c: 80% d: 70% e: 70% 担当 担当 1 指標 2 指	以上90% 以上80% 未満 名 部室 標の説 検施設及	施設・ 明 び介護 ・	長寿社会部 専用居住3	部 系サービ		≧員数(人分) 連絡先 3 算出方 流	去・出典等 F度末時点の介 と差し引いて算	子 護保険施設等の実気	-] 	
c: 80% d: 70% e: 70% 担当 担当 1 指標 2 指	以上90% 以上80% 未満 名 密室 標の説 検施設及	施設・ 明 び介護 ・	東用居住家	ボービ票	この定員数	3 算出方 第出方法: 当該 時点の実定員数を 出典: 事業担当調	去・出典等 F度末時点の介 と差し引いて算	護保険施設等の実定 I出	-] 	
c: 80% d: 70% d: 70% e: 70% 指標: 担当 1 指 2	以上90% 以上80% 未満 名 密室 標の説 検施設及	株満施設・明び介護株充実度を	更寿社会部 享用居住系 上示す指标	ポート ディスティック できません できません できま できま できま できま できま できま できま できま しゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅう		3 算出方 第出方法: 当該 時点の実定員数を 出典: 事業担当調	去・出典等 F度末時点の介 と差し引いて算	子 護保険施設等の実気	- ご員数からi	
c: 80% d: 70% e: 70% 指標 担当 1 指 介護保隆 2 指 4 数:	以上90% 以上80% 未満 名 部室 標の説 検施設及	株満施設・明び介護株充実度を	東用居住家	ポート ディスティック できません できません できま できま できま できま できま できま できま できま しゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅう	この定員数	3 算出方 第出方法: 当該 時点の実定員数を 出典: 事業担当調	去・出典等 F度末時点の介 と差し引いて算	護保険施設等の実定 I出	-	
c: 80% d: 70% d: 70% e: 70% 指標: 担当 1 指 2	以上90% 以上80% 未 名 審室 標の設及 標の表に 値 の(平成3	施設・ 明び介護 味 完充実度を 12年度)	東用居住系 中用居住系 中ボマ 中ボ23年 11.8	ボック (ボック・ボック・ボック・ボック・ボック・ボック・ボック・ボック・ボック・ボック・	この定員数	達員数(人分) 連絡先 3 算出方 法 第出方法: 当該教 を	去・出典等 F度末時点の介 と差し引いて算 果調べ	を 護保険施設等の実施 は出 根拠 年度目標値	こ	前年度末
c: 80% d: 70% e: 70% 指標: 担 指標: 2	以上90% 以上80% 未満 名 部室 標の設及 標の意 で で で で で の で で で の で で の で で で の で の	施設・ 明び介護 味 完充実度を 2年度)	東用居住列 ・ 示す指標 ・ 平成23年 11.5	祭サービ票 度評価値 981 数値 F度	*スの定員数 平成32年度目標 -	3 算出方 3 算出方 第出方法:当該 等点の実定員数を 出典:事業担当調 票値	去・出典等 F度末時点の介 と差し引いて算 果調べ 単 第4期京都市民民	等に では では では では では では では では では では	度目標値(12, 449	
c: 80% d: 70% d: 70% e: 70% 指標: 担当 1 指 2	以上90% 以上80% 未満 名 部室 標の設及 標の意 で で で で で の で で で の で で の で で で の で の	ル ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	更寿社会部 東用居住家 平成23年 11,9 最新 22年	ボックリング (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	マ成32年度目標 ・ 推移 376人分増	3 算出方 3 算出方 第出方法:当該 等点の実定員数を 出典:事業担当調 票値	去・出典等 F度末時点の介 と差し引いて算 果調べ 単 第4期京都市民民	を 護保険施設等の実施 出 根拠 年度目標値 根拠	度目標値(12, 449	前年度末
c: 80% d: 70% e: 70% 指標: 担 指標: 2	以上90% 以上80% 未満 名 部室 標の設及 標の意 で で で で で の で で で の で で の で で で の で の	施設・ 明び介護 味 主 2年度) 数度 605	更寿社会部 東用居住家 平成23年 11,9 最新 22年	ボックリング (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	で マ成32年度目標 ・ 推移	3 算出方 3 算出方 第出方法:当該 等点の実定員数を 出典:事業担当調 票値	去・出典等 F度末時点の介 と差し引いて算 果調べ 単 第4期京都市民民	等に では では では では では では では では では では	度目標値(12, 449	前年度末
c: 80% d: 70% e: 70% 指標: 担 指標: 2	以上90% 以上80% 未 名 部室 標の説 検施設及 標の意 でスの 値 11,	株 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	東邦社会音 東用居住 東用居住 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	ボックラック ままま できます ままま できます できます できます できます できます で	マ成32年度目標 ・ 推移 376人分増	3 算出方 (東絡先 (東絡先 (東部 大) (東京 大)	去・出典等 F度末時点の介 と差し引いて算 果調べ 単 第4期京都市民民	養保険施設等の実行 (出 根拠 年度目標値 根拠 ますこやかプランに掲げる平成22年 度目標値 (12,007人) を差し引いて	度目標値(12, 449	前年度末
c: 80% d: 70% e: 70% f 指標: り 担 指標: り も	以上90%以未 名 部 標施 程 の設 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	株 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	更寿社会部	ボックリング (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	マルスの定員数 平成32年度目標 - 推移 376人分増 中長期目標	3 算出方 事格先 3 第出方法 第出方法: 員数を 時点の。事業担当調 票値 数値 442人分増 根拠	法・出典等 F度末時点の介 と差し引いて算 果調べ 単 ^{第4期京都市民民寿} 人)から平成21年1	養保険施設等の実行 (出 根拠 年度目標値 根拠 ますこやかプランに掲げる平成22年 度目標値 (12,007人) を差し引いて	度目標値(12, 449 築出	前年度末
 1 指標: 1 指標: 2 推 4 年 4 年 5 最大の 	以上90%以上80% 名 審 変 標の説 個 個 個 個 個 個 個 	株 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	東邦社会音 東用居住 東用居住 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	ボックリング (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	マルスの定員数 平成32年度目標 ・ 推移 376人分増 中長期目標 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3 算出方 事絡先 3 算出方 第出方法 三 第出点の 等時点の 事業担当調 禁値 数値 442人分増 根拠	法・出典等 F度末時点の介と差し引いて算業調べ 単 ^{第4期京都市民民寿} A)から平成21年1	を 護保険施設等の実気 は出 根拠 年度目標値 根拠 計まやかブランに掲げる平成22年度目標値 (12,007人) を差し引いて	度目標値(12, 449 築出	前年度末
 1 指標: 1 指標: 4 集後値 5 最近: 80%以込 5 最近: 80%以込 5 最近: 80%以込 5 最近: 80%以込 	以上90%以上80% 名 審 変 標の説 個 個 個 個 個 個 個 	株 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	更寿社会部	ボックリング (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	マルスの定員数 平成32年度目標 - 推移 376人分増 中長期目標 当該指標に進る整備促進る	3 算出方 3 算出方 第出方法: 第出点の宗主 第中点の: 事業担当制 要値 数値 442人分増 根拠	法・出典等 F度末時点の介 と差し引いて算 果調べ 単 ^{第4期京都市民民馬} A)から平成21年1	を 護保険施設等の実気 は出 根拠 年度目標値 根拠 計まやかブランに掲げる平成22年度目標値 (12,007人) を差し引いて	度目標値(12, 449 築出	前年度末 達成度 85.1%

政策	名	1	6	高齢者	福祉 —————						
指標	名	地域包	括支援	センター	−相談件数(件	-)					
担当	部室	£	長寿社会	部		連絡先	2 5	1 – 1	0 6]	
	標の説						•			_	
地域包:	括支援セ	ンター〜	への年間を	相談延べ	件数						
2 指	標の意味					3 算出方法	上。出曲等	<u> </u>			
地域全位	体で高齢	者を支え	えるネッ	トワーク	の構築	算出方法:全续	数調査	 			
状況を	示す指標					出典:事業担	当課調べ				
4 数	(値										
10年後(の(平成3	2年度)	平成23年	度評価値	平成32年度目標値			根拠			
目標値		- 1 ,2,	239	,203	=						
	前同	数値	最新	数値	1// 1/2		道	鱼年度目標	値		
	21年	F度 F		手度	推移	数值			拠		達成度
数値	235,	007	239	,203	4,196件増	246,757	前年度実	₹績の5%増	曽の数値		96.9%
	A FINE A				中長期目標						
	全国順位	数值	目標年次	達成度	柜	拠		備考			
数値											
	価基準				6 基準説明			•	7 評化	西結果	
単年度 a:100'	目標に対%以上	する達成	対率が		積極的な対象者 値の100%以上を						23
	。 以上100	%未満			準を設定した。	£ a, ≥√ 10/0	次10万 (金				
	6以上90%								l _	_	Ь
a • 7/110/	6以上80% (土港	o 未満									"
а. 70 % е: 70%) 										